資料１

令和5年
心血管疾患の医療連携体制を担う
医療機関における診療状況
調査結果

令和５年心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査の概要

【調査対象】

令和5年1月1日～令和5年12月31日までの急性心筋梗塞等の医療連携体を担う医療機関における診療状況調査

【対象機関数及び回収状況】

	急性期		回復期・再発予防・かかりつけ医		計
	病院	診療所	病院	診療所	
調査対象機関数	12	1	76	176	265
回答機関数	12	1	70	145	228
回収率	100%	100%	92.1%	82.4%	86.0%

【調査実施期間】

令和6年6月28日（金）～7月19日（金）

【調査方法】

令和6年4月1日現在での岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関へ調査票を郵送し、FAX等にて回収

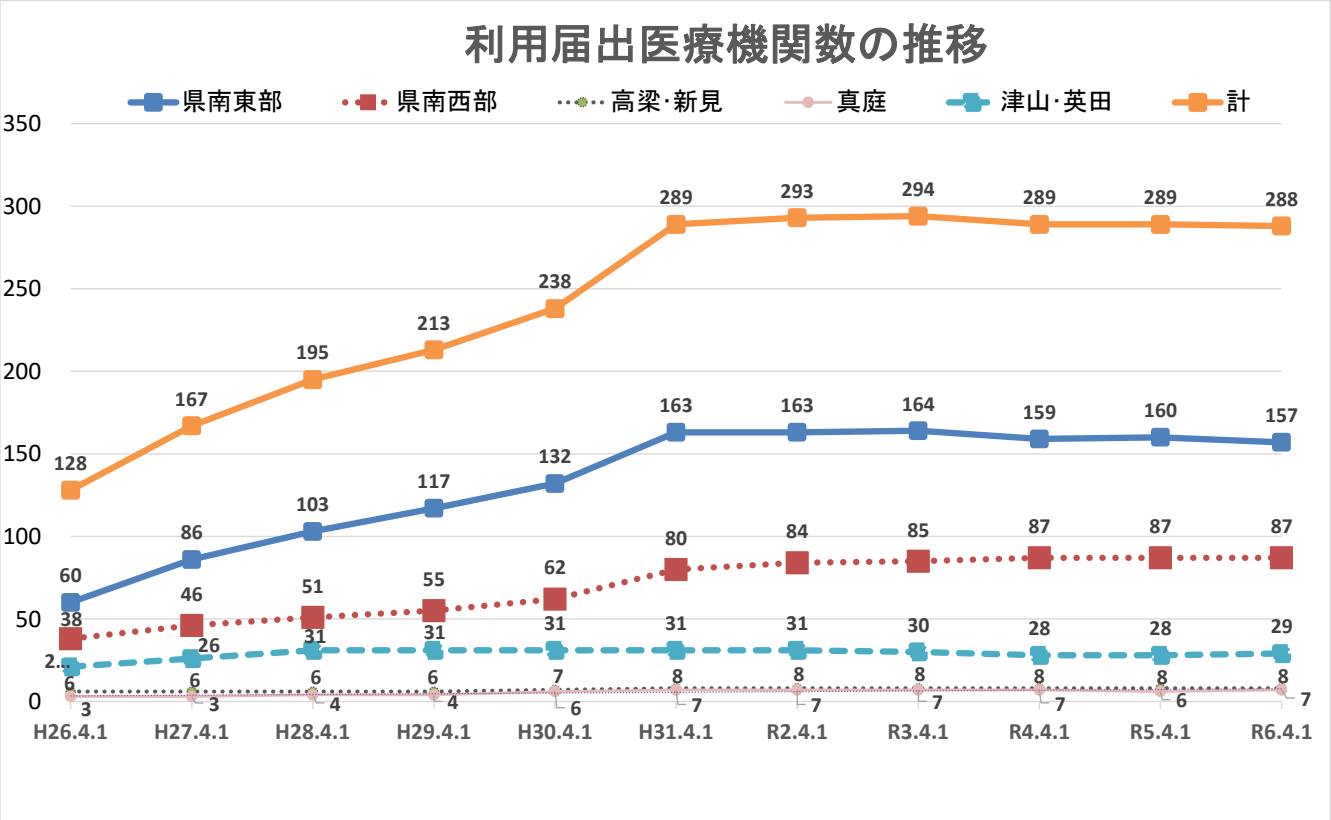
（※急性期医療機関13施設は、メールで調査票を送付）

安心ハート手帳　利用届出機関数（R6.4.1現在）

	急性期		回復期		再発予防		かかりつけ		計
	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	病院	診療所	
県南東部	9	1	11	6	15	32	7	76	157
県南西部	2	0	6	3	21	16	12	27	87
高梁･新見	0	0	0	0	5	1	1	1	8
真庭	0	0	0	0	3	0	2	2	7
津山･英田	1	0	1	0	2	1	4	20	29
小計	12	1	18	9	46	50	26	126	288
計	13		27		96		152		288

＜利用届出医療機関数の推移＞

	H26.4.1	H27.4.1	H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1
県南東部	60	86	103	117	132	163	163	164	159	160	157
県南西部	38	46	51	55	62	80	84	85	87	87	87
高梁･新見	6	6	6	6	7	8	8	8	8	8	8
真庭	3	3	4	4	6	7	7	7	7	6	7
津山･英田	21	26	31	31	31	31	31	30	28	28	29
計	128	167	195	213	238	289	293	294	289	289	288



心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況（令和５年）

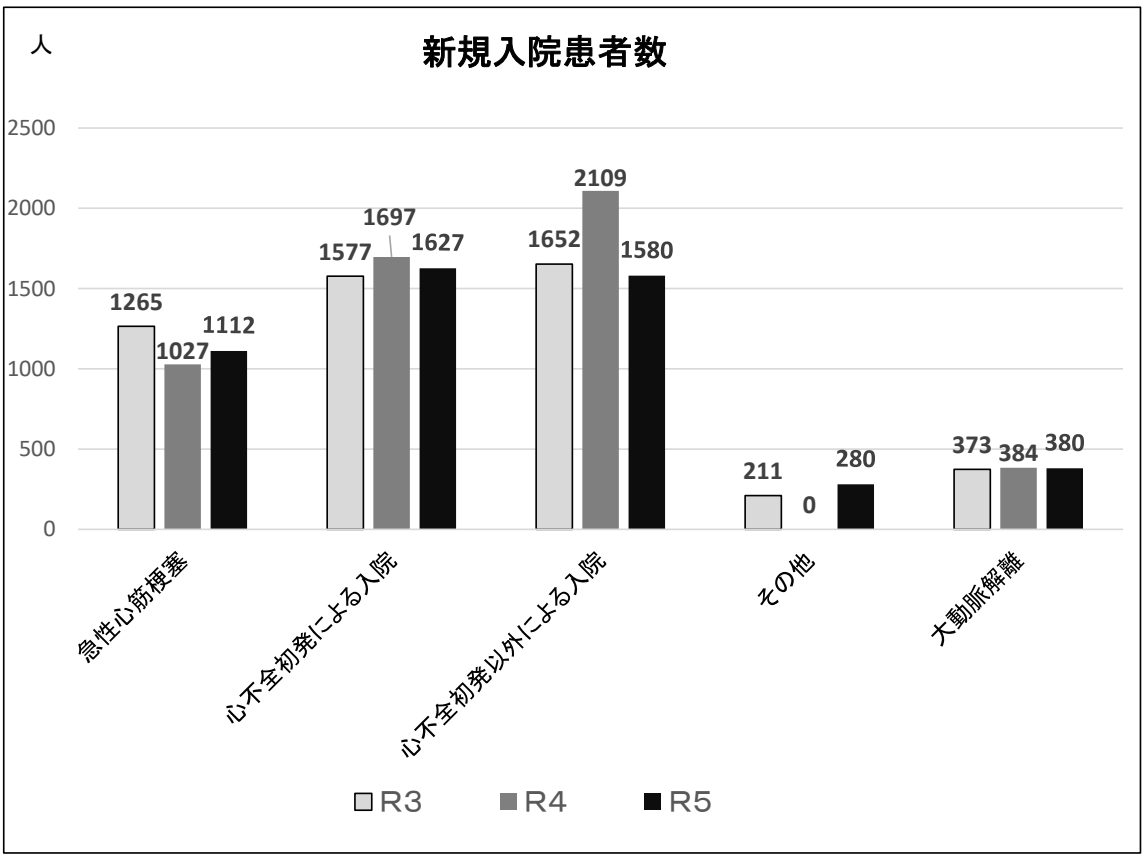
急性期病院

医療連携体制を担う医療機関の届出施設【急性期】 13施設（病院12施設、診療所1施設）
＜回答率　100%（13施設 （病院12施設、診療所1施設） 集計結果＞

1　急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数

		急性心筋梗塞	心不全		大動脈解離
			初発による入院 ※1	心不全初発以外による入院	
新規入院患者数（A）		1112人	1627人	1580人	380人
入院後の状況（内数）	入院継続中（B）	0人	4人	5人	0人
	他医療機関への転院（C）	62人	205人	232人	58人
	退院（D）（生活の場への復帰）	546人	861人	983人	188人
	入院中に死亡した患者数（E）	85人	67人	93人	43人
	不明（E）	0人	0人	0人	0人

※医療機関のシステムにおいて、初発・初発以外での抽出ができない場合は、全て初発で計上
※入院後の状況（内数）が、正確にわからないと回答した医療機関があるため、総数と内数の合計が一致しない場合がある



2　入院患者のうち、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）の適応症例に該当する患者

適応症例あり：100%

3　適応症例の患者に地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付の有無

全員交付	２医療機関（15.4%）
一部の患者に交付	１１医療機関（84.6%）
空欄	0医療機関（0%）

※2で適応症例に該当する患者がいたと回答した13医療（病院12、診療所1）についての集計

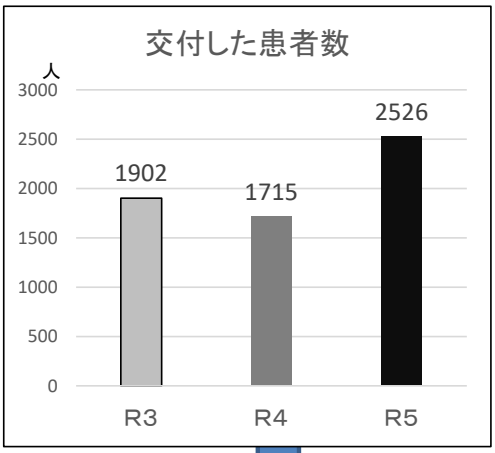
一部の患者に交付した理由

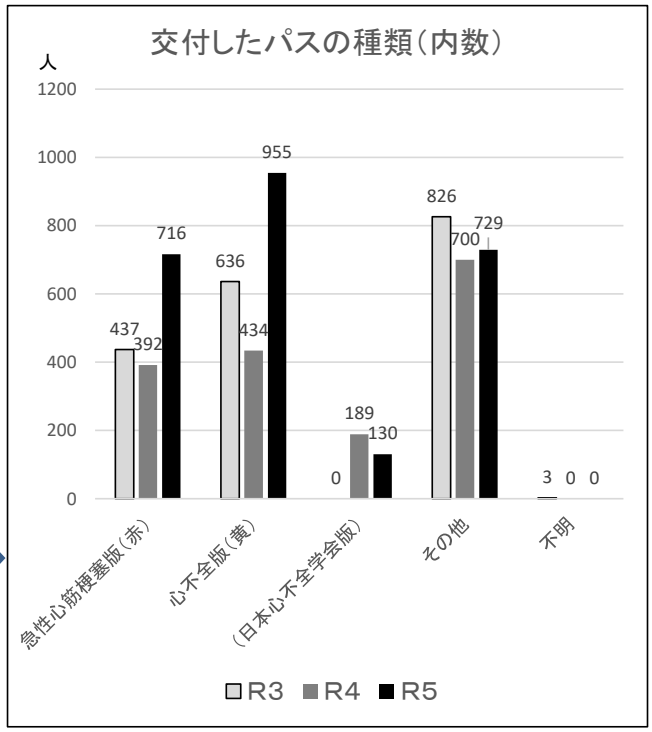
- ・施設入所中の高齢者には渡していないことがある
- ・認知症や寝たきりの患者等には交付していない
- ・患者を選定して配布したため
- ・手帳を活用した療養上の指導・指示が理解・履行できる患者（家族等の支援によるものも含む）を対象に交付したため
- ・入院中に死亡したため
- ・再入院のためすでに持っていたため

4　地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した患者数

交付した患者数		（A）	2526人
パスの種類（内数）	急性心筋梗塞版（赤）	（B）	716人
	心不全版（黄）	（C）	955人
	（日本心不全学会版）心不全手帳	（D）	130人
	その他（自院等で作成したパス等）	（E）	729人
	不明	（E）	0人

※（A）＝（B）＋（C）＋（D）＋（E）＋（F）
※同一患者に複数の冊子を配布している場合あり（4人）

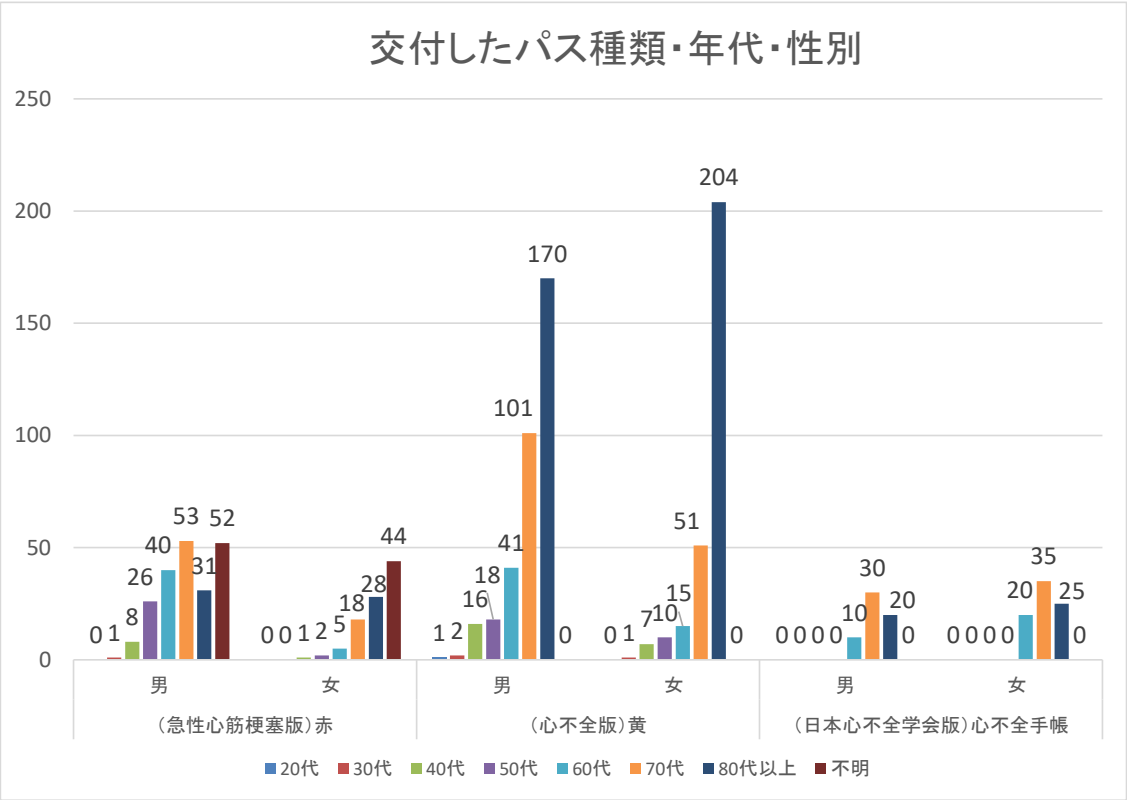


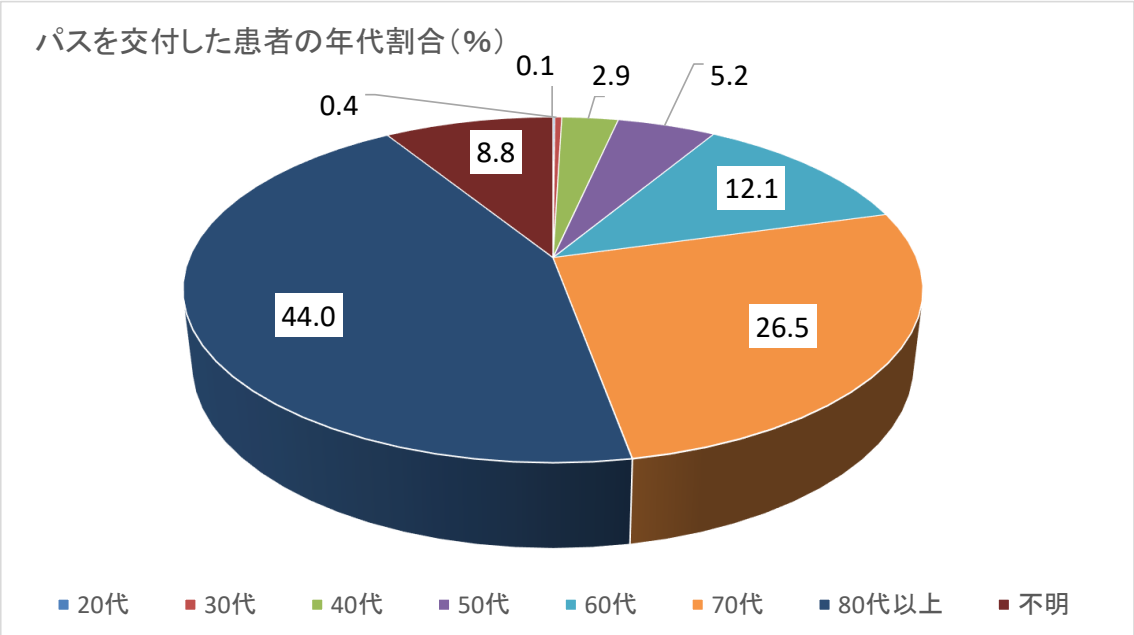


5　交付した患者の年代・性別

	（急性心筋梗塞版） 赤		（心不全版） 黄		（日本心不全学会版）心不全手帳	
	男	女	男	女	男	女
20代	0	0	1	0	0	0
30代	1	0	2	1	0	0
40代	8	1	16	7	0	0
50代	26	2	18	10	0	0
60代	40	5	41	15	10	20
70代	53	18	101	51	30	35
80代以上	31	28	170	204	20	25
不明	52	44	0	0	0	0
合計	211	98	349	288	60	80

※その他（自院等で作成したパス等）については不明。



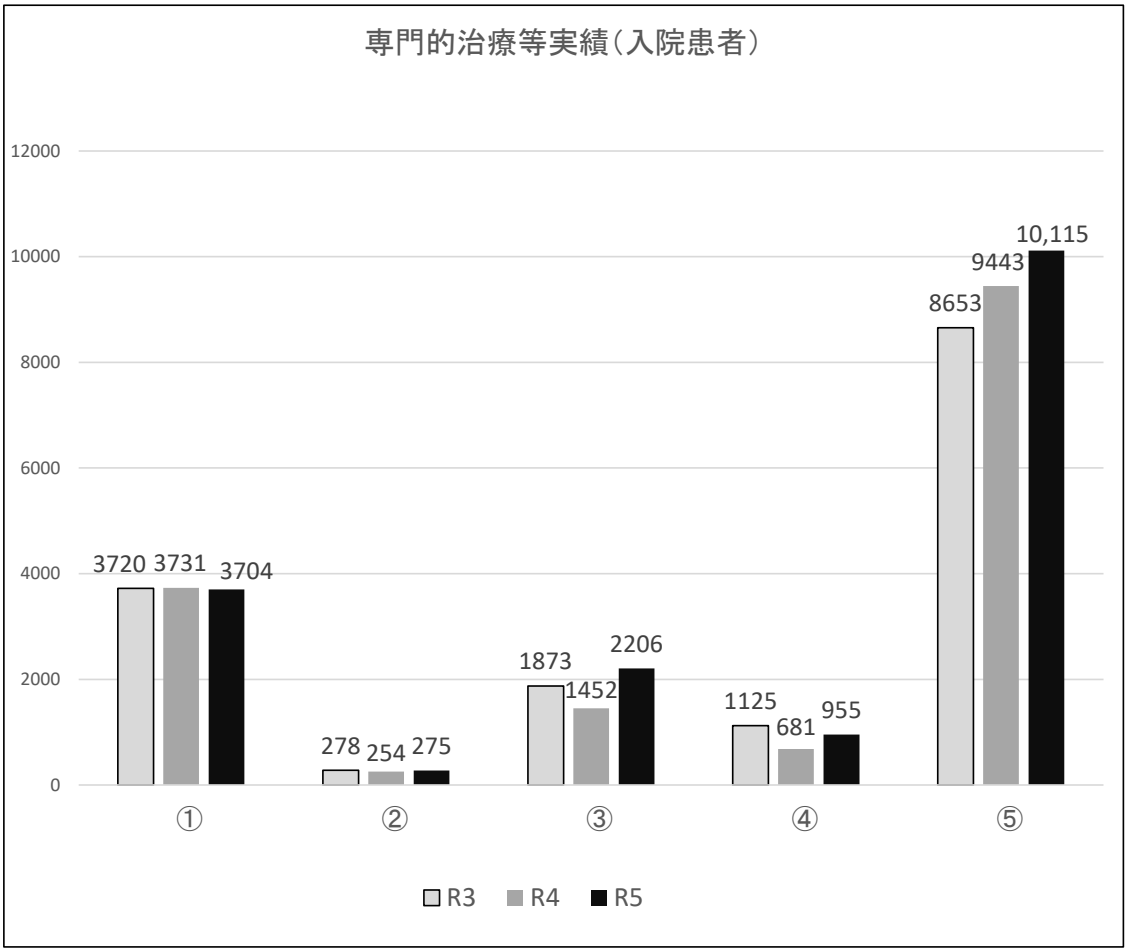


6　患者が有している合併症

高血圧		1360
糖尿病		723
腎不全	維持透析あり	128
	維持透析なし	240
脂質異常症		369
その他		0

8　入院患者について、専門的治療等実施状況

区分	実施人数
①　冠動脈インターベンション（PCI）	3704人
②　冠動脈バイパス術（CABG）	275人
③　カテーテルアブレーション	2206人
④　ペースメーカー植込み（新規）	955人
⑤　心大血管疾患リハビリテーション（新規患者数） 計上の範囲　　H000　心大血管疾患リハビリテーション科	10115人



9　地域連携診療計画加算の算定件数

1026件

※回答のあった13医療機関のうち、9施設（69．2%）＜病院9施設、診療所0施設＞において、算定あり。
※（参考）R2年　1041件、R3年　467件、R4年　383件

10　令和5年度に県が作成及び改訂した地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した患者数

急性心筋梗塞版（赤）　第5版	673人
冠動脈疾患（青）　第6版	330人
セルフモニタリングツール	144人

11　令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数

急性心筋梗塞地域連携フロー	244人

12　「安心ハート手帳」を始めとする医療連携ツールの改善に向けて自由記載

・安心ハート手帳に管理栄養士、薬剤師が記載する項目がないため検討してほしい。

・セルフモニタリングツールは安心ハート手帳に組み込んでほしい。

・医療職や在宅医療職に提供する情報ツールを県で統一してほしい。

・安心ハート手帳は内容がたくさんあるため、理解の難しい方には代わりに当院で作成したものを渡している。高齢者用にもう少し簡易なものがあってもいいと思う。

・連携フローは活用できていない。

・大きなトラブルもなく経過している。このまま継続していきたい。

・モニタリングツールは今年になり使用回数を増やすよう院内で周知した

・地域連携パスの多職種の記載欄が狭いため、もう少し広くとっていただけると記載しやすい。

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況（令和５年）

回復期・再発予防・かかりつけ医療機関

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関の届出施設【回復期・再発予防・かかりつけ医療機関】
252施設（病院76施設、診療所176施設）うち、回答のあった215施設（85．32%）

＜病院70施設（92．11%）、診療所145施設（82．39%）＞の集計結果

1 入院及び外来受診患者について、指導状況等

区分	実施施設数（施設）			実施人数（人）		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5
① 心臓ペースメーカー指導管理	52	56	45	4625	1701	3094
② 心大血管疾患リハビリテーション	26	32	30	4943	2781	4276
③-1 栄養指導 外来栄養食事指導料	50	51	45	3584	2683	1160
③-2 栄養指導 入院栄養食事指導料（週1 回）	43	49	39	3843	2786	1828
③-3 栄養指導 集団栄養食事指導料	5	12	3	117	20	179

※③-1～3 栄養食事指導料については、システム上、心疾患名から実施患者数を計上できない医療機関があるため、一部他疾患による栄養食事指導実施人数が含まれている。

2 地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者状況

	R3		R4		R5	
いた	63施設	27.39%	61施設	27.50%	57施設	26.51%
いない	144施設	62.61%	126施設	57.20%	125施設	58.14%
不明	23施設	10.00%	23施設	10.40%	26施設	12.09%
無記入	0施設	0.00%	1施設	0.45%	7施設	3.26%

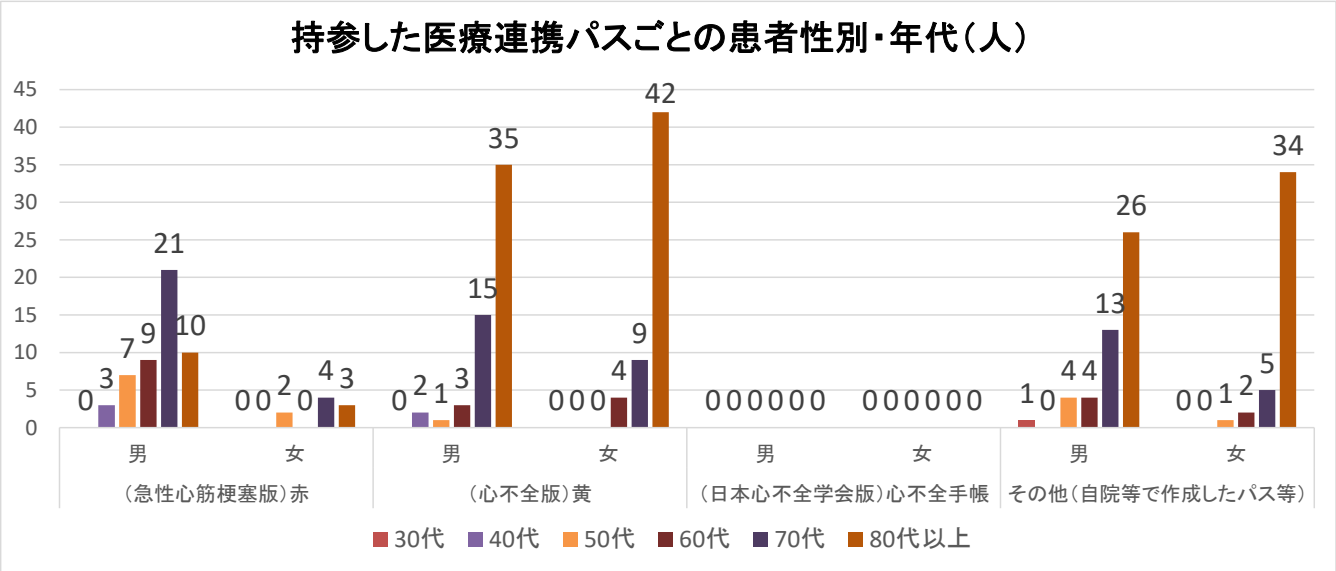
3 2で「1.いた」のうち、持参した患者について、分かる範囲での紹介元の医療機関と人数

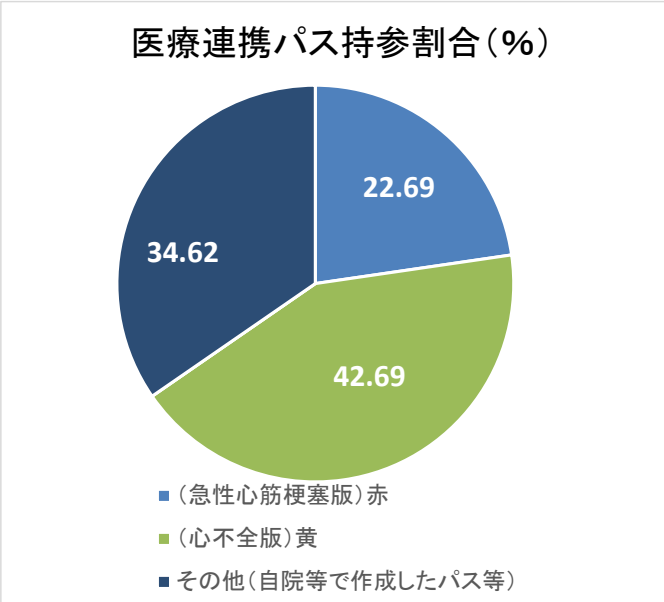
紹介元の医療機関名	施設数	持参した患者数	うち手帳の種類									
			急性心筋梗塞版（赤）		心不全版（黄）		（日本心不全学会版）心不全手帳		その他（他・自院等で作成したパス等）		不明	
			施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数	施設数	持参した患者数
倉敷中央病院	31	182	16	41	13	76			10	92	1	1
心臓病センター 榊原病院	12	18	6	10	7	7						
岡山赤十字病院	7	9	6	7	2	2						
岡山市立市民病院	3	12	1	3	3	9						
岡山大学病院	1	1									1	1
岡山医療センター	3	4			3	4						
岡山ハートクリニック	2	2			1	1					1	1
川崎医科大学附属病院	5	7	2	2	3	4					1	1
岡山協立病院												
岡山労災病院												
津山中央病院	1	2			1	2						
岡山済生会総合病院	1	1			1	1						
岡山中央病院	1	1			1	1						
川崎医科大学総合医療センター	1	1			1	1						
倉敷リバーサイド病院												
不明	2	2			1	1					1	1

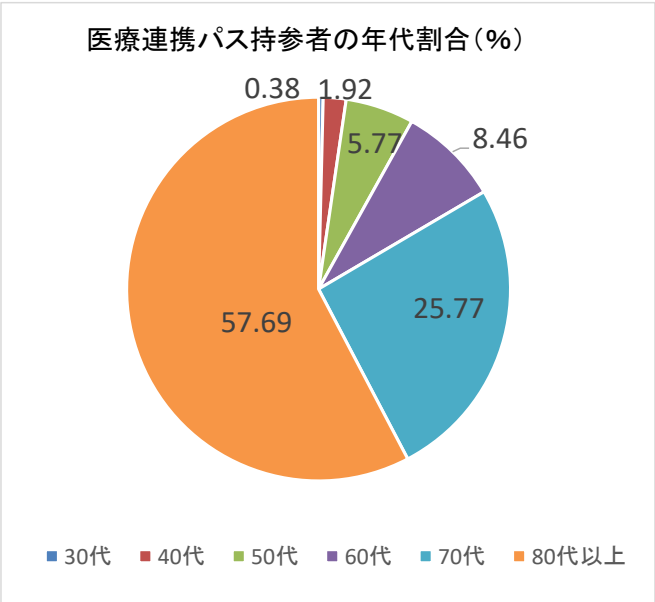
4 医療連携パスを持参した方のうち分かる範囲での患者の年代

医療機関のわかる範囲で年代を記入いただいているため、3で記載した人数と合致しない。

	（急性心筋梗塞版）赤		（心不全版）黄		（日本心不全学会版）心不全手帳		その他（自院等で作成したパス等）		合計
年代	男	女	男	女	男	女	男	女	
30代	0	0	0	0	0	0	1	0	1
40代	3	0	2	0	0	0	0	0	5
50代	7	2	1	0	0	0	4	1	15
60代	9	0	3	4	0	0	4	2	22
70代	21	4	15	9	0	0	13	5	67
80代以上	10	3	35	42	0	0	26	34	150
合計	50	9	56	55	0	0	48	42	260
男女合計	59		111		0		90		







○連携パスを持参した患者の57.7%は、80代以上となっている。
○手帳の種類に限らず、手帳を持参する患者は、女性よりも男性が多い。
○持参された医療連携パスの約65.4%は、県が作成した医療連携パスとなっている。

5 患者が有している合併症

複数の疾患を有している場合があり、合計数は多くなっている。

高血圧		2527
糖尿病		1524
慢性腎不全	維持透析あり	311
	維持透析なし	233
脂質異常症		1623
その他		69

6 令和5年度に県が作成したセルフモニタリングツールを使って受診された患者数

セルフモニタリングツール	3人

7 令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数

急性心筋梗塞地域連携フロー	7人

8 地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を始めとする医療連携ツールの改善に向けてのご意見

コメント
・診療報酬制度や保険制度が煩雑になりすぎて、医療連携ツールとして有効に活用する余裕が医療従事者にも患者にもなくなっていると感じる。病院で交付されても診療所へ提示しない患者もいる。 ・できるだけコンパクトにしてほしい。 ・専門医療機関との連携の患者の数は多いが、安心ハート手帳等を持参しての来院は少ない。 ・病院から渡されているはずの安心ハート手帳を持ってくる人がいない。

疾 第 ２ ７ ９ 号
令和６年６月２７日

岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関
参加届出医療機関の長　殿

岡山県保健医療部疾病感染症対策課長

「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況」
に係る調査について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、心血管疾患の医療連携体制の更なる充実に向け、医療連携パス「安心ハート手帳」を運用し、運用状況についてアンケート調査を実施してきたところです。

本年度も、下記により調査を実施しますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

１　調査様式　　別紙のとおり
「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況
調査票(急性期病院用)」

２　回答期限　　令和６年７月 19 日（金）
※メールにて下記担当まで送付願います。

３　そ の 他　・ 調査票の記入にあたっては、同封の記入要領を御覧ください。
・ 前回調査の取りまとめ結果を同封しています。

岡山県保健医療部
疾病感染症対策課疾病対策班（担当：田中）
〒700-8570　岡山市北区内山下二丁目4－6
TEL 086-226-7321 ／ FAX 086-226-7958
E-mail saki_tanaka@pref.okayama.lg.jp

疾 第 ２ ７ ９ 号
令和６年６月２７日

岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関
参加届出医療機関の長　殿

岡山県保健医療部疾病感染症対策課長

「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況」
に係る調査について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、心血管疾患の医療連携体制の更なる充実に向け、医療連携パス「安心ハート手帳」を運用し、運用状況についてアンケート調査を実施してきたところです。

本年度も、下記により調査を実施しますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

１　調査様式　　別紙のとおり
「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況
調査票(①急性期病院用)(②回復期・再発予防・かかりつけ医療機関用)」

２　回答期限　　令和６年７月 19 日（金）
※メールにて下記担当まで送付願います。

３　そ の 他　・ 調査票の記入にあたっては、同封の記入要領を御覧ください。
・ 前回調査の取りまとめ結果を同封しています。

岡山県保健医療部
疾病感染症対策課疾病対策班（担当：田中）
〒700-8570　岡山市北区内山下二丁目4－6
TEL 086-226-7321 ／ FAX 086-226-7958
E-mail saki_tanaka@pref.okayama.lg.jp

疾 第 ２ ７ ９ 号
令和６年６月２７日

岡山県急性心筋梗塞等の医療連携体制を担う医療機関
参加届出医療機関の長　殿

岡山県保健医療部疾病感染症対策課長

「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況」
に係る調査について（依頼）

保健医療行政の推進につきましては、平素より格別の御理解、御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本県では、心血管疾患の医療連携体制の更なる充実に向け、医療連携パス「安心ハート手帳」を運用し、運用状況についてアンケート調査を実施してきたところです。

本年度も、下記により調査を実施しますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、御協力のほどよろしくお願いいたします。

記

１　調査様式　　別紙のとおり
「心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況
調査票(回復期・再発予防・かかりつけ医療機関用)」

２　回答期限　　令和６年７月 19 日（金）
※メール又はFAXにて下記担当まで送付願います。

３　そ の 他　・ 調査票の記入にあたっては、同封の記入要領を御覧ください。
・ 前回調査の取りまとめ結果を同封しています。

岡山県保健医療部
疾病感染症対策課疾病対策班（担当：田中）
〒700-8570　岡山市北区内山下二丁目4－6
TEL 086-226-7321 ／ FAX 086-226-7958
E-mail saki_tanaka@pref.okayama.lg.jp

岡山県 疾病感染症対策課 疾病対策班　田中あて　saki_tanaka@pref.okayama.lg.jp

※　令和6年7月19日（金）までにご回答願います。

急性期病院用

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況　調査票

医療機関名：
住所：
連絡先電話番号：
記入者：
メールアドレス：

2023年（R5.1.1～R5.12.31）の貴院の状況についてお答えください。

問1.　上記期間中、急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数をご記入ください。

			急性心筋梗塞	心不全			大動脈解離
				初発による入院	初発以外による入院	その他	
新規入院患者数（A）			人	人	人	人	人
（内数）入院後の状況		入院継続中（B）	人	人	人	人	人
		他医療機関への転院（C）	人	人	人	人	人
		退院（D） （生活の場への復帰）	人	人	人	人	人
		入院中に死亡した 患者数（E）	人	人	人	人	人
		不明（F）	人	人	人	人	人

※（A）＝（B）＋（C）＋（D）＋（E）＋（F）

問2.　問1の入院患者のうち、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）の適応症例に該当する患者がいましたか。

1. いた　→問3へ
2. いない
3. 不明

→問6へ

※「安心ハート手帳」の適応症例（「安心ハート手帳運用マニュアル」より抜粋）

概ね以下に示す症例としています。

◇ 急性心筋梗塞
- 重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- 心臓リハビリテーションが順調に経過した症例
- ADLが自立している症例
- 冠動脈再灌流療法が施行された症例

◇ 心不全
- 重篤な合併症がなく、標準的な経過をたどると考えられる症例
- 基本的に静注薬や酸素吸入が不要な症例

問3.　問2で「1. いた」を選択した方にお伺いします。
貴院では、その患者に地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付しましたか。

1. 全員に交付した
2. 一部の患者に交付した

→問4へ

3. まったく交付しなかった　→問6へ

調査票2枚目へ →

医療機関名：

問4.　上記期間中、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した患者数をご記入ください。

交付した患者数		（A）	人
パスの種類（内数）	急性心筋梗塞版（赤）	（B）	人
	心不全版（黄）	（C）	人
	(日本心不全学会版)心不全手帳	（D）	人
	その他（自院等で作成したパス等）	（E）	人
	不明	（F）	人

※（A）＝（B）＋（C）＋（D）＋（E）＋（F）

問5.　問4で交付した患者の年代・性別をご記入ください。

	急性心筋梗塞版（赤）		心不全版（黄）		（日本心不全学会版）心不全手帳		その他	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10代								
20代								
30代								
40代								
50代								
60代								
70代								
80代以上								
合計								

問6.　問1の患者が有している合併症について、分かる範囲で当てはまるものの人数を記載してください。

疾患名		人数
高血圧		人
糖尿病		人
腎不全	維持透析あり	人
	維持透析なし	人
脂質異常症		人
その他（　　）		人

調査票3枚目へ　→

医療機関名：

問7.　問3で「2. 一部の患者に交付した」または「3. まったく交付しなかった」を選択した方にお伺いします。
地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付しなかった主な理由をお聞かせ下さい。（2つまで回答可）

1. 安心ハート手帳のことを知らなかった（院内での周知が図られていなかった）。
2. 使い方がわからなかった。
3. 患者の理解が得られなかった。
4. 忙しくて手が回らなかった
5. 院内に在庫がなかった。
6. その他

問8.　上記期間中の入院患者について、専門的治療等実施状況をご記入ください。

区分	実施人数
①　冠動脈インターベンション（PCI）	人
②　冠動脈バイパス術（CABG）	人
③　カテーテルアブレーション	人
④　ペースメーカー植込み（新規）	人
⑤　心大血管疾患リハビリテーション（新規患者数）	人

問9.　上記期間中の地域連携診療計画加算の算定件数をご記入ください。

（参考）地域連携診療計画加算：300点（退院時1回）　　件

問10.　上記期間中、令和5年度に県が作成及び改訂した地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した患者数をご記入ください。

	交付した患者数
急性心筋梗塞版（赤）　第5版	人
冠動脈疾患（青）　第6版	人
セルフモニタリングツール	人

問11.　上記期間中、令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

急性心筋梗塞地域連携フロー	人

問12.「安心ハート手帳」を始めとする医療連携ツールの改善に向けて、お気づきの点、あった方がよいと感じる内容がございましたら自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

急性期病院用

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【記入要領】

＜回答にあたっての留意事項＞

2023 年（R5.1.1～R5.12.31）の貴院の状況についてお答えください。

・全国規模の統計調査との比較を行うため、調査期間を「1～12月」にしています。

【問１】上記期間中、急性心筋梗塞または心不全、大動脈解離により、新規入院した患者数をご記入ください。

・上記期間中に貴院に「急性心筋梗塞」、「心不全」、「大動脈解離」を主疾患名として入院した患者数を延人数でご記入ください。

・「心不全」については、下記のとおり区分して計上してください。

「初発による入院」・・・はじめて心不全を発症した患者（R4.12.31 以前から初発により入院継続中の患者を含む）

「初発以外の入院」・・・従前から心不全の症状があり、急性憎悪のため再入院した者等、初発以外の入院患者（R4.12.31 以前から入院継続中の患者を含む）

「その他」・・・「初発による入院」、「初発以外の入院」に当てはまらない患者

※急性憎悪による入院について、「初発」、「初発以外」が不明の場合は、「初発による入院」として計上してください。

・1回の入院を「1」とし、同じ患者が複数回入院した場合は、延人数でご記入ください。

・1人の患者が、別区分の心疾患で上期間内に入院した場合は、それぞれの疾患における入院として計上してください。

・他医療機関への転院（C）には、院内の他科への転棟も含めてください。
（例：急性期病棟から、慢性期病棟や地域包括ケア病棟等への転棟）

・退院（生活の場への復帰）（D）には、自宅のほか、介護老人保健施設、老人ホーム、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅も含めて、記載してください。

・不明（F）には、（B）、（C）、（D）、（E）に当てはまらない場合、若しくは入院後の状況が不明の場合に計上してください。

・新規入院患者数（A）＝入院継続中（B）＋他医療機関への転院（C）＋退院（D）＋入院中に死亡した患者数（E）＋不明（F）となります。

【問２】問１の入院患者のうち、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）の適応症例に該当する患者がいましたか。

・地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）とは、県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス　安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス　安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、または自院等で独自に作成している同種のパス等のことです。

【問４】上記期間中、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した患者数をご記入ください。

・県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス　安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス　安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成している「心不全手帳」またはそれに類するものについて、それぞれ交付した人数をご記入ください。

・1人の患者に種類の異なる別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した場合は、それぞれ「1回」交付として計上してください。

【問５】問４で交付した患者の年代・性別をご記入ください。

・問4で交付したと回答した「急性心筋梗塞医療連携パス　安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス　安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成している「心不全手帳」またはそれに類するものについて、それぞれ交付した年代と性別ごとの人数をご記入ください。

【問６】問１の患者が有している合併症について、分かる範囲で当てはまるものの人数を記載してください。

・貴院で治療を行った問 1 の患者のうち、「高血圧」、「糖尿病」、「腎不全」（維持透析あり・なし）「脂質異常症」「その他」について、合併症として有している場合、それぞれの人数を記載してください。

・複数の合併症を有している場合、それぞれを 1 人として記載してください。

【問８】上記期間中の入院患者について、専門的治療等実施状況をご記入ください。

・下表の区分に従い、実際に行った治療等の人数(延人数)を記載してください。

・1回の治療内容で複数区分の診療報酬点数を加算した場合は、それぞれの区分を「1人」として計上してください。

同一区分の中で、複数の治療内容を行った場合でも、区分としては「1人」として計上してください。

・同じ患者が1つの算定区分を上記期間中に複数回算定した場合は、延人数として計上してください。

・問1の入院患者数と一致する必要はありません。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① 冠動脈インターベンション（PCI）	K546 経皮的冠動脈形成術 K547 経皮的冠動脈粥種切除術 K548 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） K549 経皮的冠動脈ステント留置術 K550 冠動脈内血栓溶解療法 K550-2 経皮的冠動脈血栓吸引術
② 冠動脈バイパス術（CABG）	K552 冠動脈、大動脈バイパス移植術 K552-2 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工肺を使用しないもの）
③ カテーテルアブレーション	K595 経皮的カテーテル心肺焼灼術
④ ペースメーカー植込み（新規）	K597 ペースメーカー移植術 K598 両心室ペースメーカー移植術（CRT） K599 植込型除細動器移植術（ICD） K599-3 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（CRTD）
⑤ 心大血管疾患リハビリテーション（新規患者数）	H000 心大血管疾患リハビリテーション料

【問９】上記期間中の地域連携診療計画加算の算定件数をご記入ください。

・診療報酬加算点数を算定した件数(延件数)をご記入ください。

・同じ患者が、複数回入院する等により、複数回算定している場合は、それぞれ「1件」とし、延件数で計上してください。

・問1の入院患者と一致する必要はありません。上記期間外に治療した患者について、上記期間中に診療報酬を算定した場合は、件数にカウントしてください。

【問 10】上記期間中、令和５年度に県が作成及び改訂した地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した患者数をご記入ください。

・県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス　安心ハート手帳（赤）　第5版」、「冠動脈疾患　上手につき合うために　第6版」、「セルフモニタリングツール」について、それぞれ交付した人数をご記入ください。

・1人の患者に種類の異なる別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を交付した場合は、それぞれ「1回」交付として計上してください。

【問 11】上記期間中、令和５年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

・県が配付している「急性心筋梗塞地域連携フロー」について、かかりつけ医への引き継ぐ目安として使用した患者数をご記入ください。

岡山県 疾病感染症対策課 疾病対策班　田中あて

※　令和6年7月19日（金）までにご回答願います。

回復期・再発予防・かかりつけ医療機関

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況　調査票

医療機関名：
住所：
連絡先電話番号：
記入者：
メールアドレス：

2023年（R5.1.1～R5.12.31）の貴院の状況についてお答えください。

問1．上記期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者の入院及び外来受診患者について、指導状況等をおしえてください。

区分		実施人数
①　心臓ペースメーカー指導管理		人
②　心大血管疾患リハビリテーション		人
③-1　栄養指導	外来栄養食事指導料	人
③-2　栄養指導	入院栄養食事指導料（週1 回）	人
③-3　栄養指導	集団栄養食事指導料	人

問2．上記期間中に、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者がいましたか。

1．いた　　**→問3へ**
2．いない
3．不明　　**→問5へ**

問3．問2で「1.いた」を選択した方にお伺いします。
地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者について、紹介元の医療機関と人数を、分かる範囲でお答えください。

紹介元の医療機関名	持参した患者数	うち手帳の種類が分かるもの			
		急性心筋梗塞版（赤）	心不全版（黄）	（日本心不全学会版）心不全手帳	その他（他・自院等で作成したパス等）
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人
	人	人	人	人	人

問4．問3で記載した患者の年代・性別について、ご記載ください。

	急性心筋梗塞版（赤）		心不全版（黄）		（日本心不全学会版）心不全手帳		その他（他・自院等で作成したパス等）	
	男	女	男	女	男	女	男	女
10代								
20代								
30代								
40代								
50代								
60代								
70代								
80代以上								
合計								

調査票2枚目へ　→

医療機関名

問5. 上記期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする患者が有している合併症について、分かる範囲であてはまるものの人数をお答えください。

疾患名		人数
高血圧		人
糖尿病		人
腎不全	維持透析あり	人
	維持透析なし	人
脂質異常症		人
その他（　　）		人

問6. 上記期間中、令和5年度に県が作成したセルフモニタリングツールを使って受診された患者数について、ご記入ください。

セルフモニタリングツール	人

問7. 上記期間中、令和5年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

急性心筋梗塞地域連携フロー	人

問8. 地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を始めとする医療連携ツールの改善に向けて、お気づきの点がございましたら、自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

回復期、再発予防、かかりつけ医療機関用

心血管疾患の医療連携体制を担う医療機関における診療状況調査

【記入要領】

＜回答にあたっての留意事項＞

2023 年（R5.1.1～R5.12.31）の貴院の状況についてお答えください。

・全国規模の統計調査との比較を行うため、調査期間を「1～12月」にしています。

【問１】上記期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者の入院及び外来受診患者について、指導状況等をおしえてください。

・上記期間において、*急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする者*に対して、下表の区分に従い、実際に行った治療等の人数(実人数)を記載してください。

・同じ患者が、入院と外来受診をしている場合は、実人数「1人」として計上してください。

・同じ患者が、別区分の心疾患で入院または外来受診した場合は、それぞれの疾患において「1人」として計上してください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① 心臓ペースメーカー指導管理	B001-12 心臓ペースメーカー指導管理料
② 心大血管疾患リハビリテーション	H000 心大血管疾患リハビリテーション料
③ -1 栄養指導	B001-9 外来栄養食事指導料
③ -2 栄養指導	B001-10 入院栄養食事指導料(週 1 回)
③ -3 栄養指導	B001-11 集団栄養食事指導料

【問２】上記期間中に、地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した新規又は初診（再診）患者がいましたか。

・地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)とは、県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳(赤)」及び「心不全医療連携パス 安心ハート手帳(心不全版)(黄)」または、自院等独自に作成している同種のパス等のことです。

【問３】地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した患者について、紹介元の医療機関と人数を分かる範囲でお答えください。（入院、外来は問いません）

・入院、外来は問いません。

・県が配付している「急性心筋梗塞医療連携パス 安心ハート手帳(赤)」、「心不全医療連携パス 安心ハート手帳(心不全版)(黄)」、日本心不全学会が作成した「心不全手帳」またはそれに類するものについて、それぞれ持参した人数をそれぞれご記入ください。

・一人の患者が種類の異なる、別の地域医療連携パス(「安心ハート手帳」等)を持参した場合は、それぞれ1回持参として計上してください。

・内訳など、不明な箇所は空欄で結構です。

【問4】問3で記載した患者の年代・性別についてご記載ください。

・問3で持参したと回答した「急性心筋梗塞医療連携パス　安心ハート手帳（赤）」、「心不全医療連携パス　安心ハート手帳（心不全版）（黄）」、日本心不全学会が作成した「心不全手帳」またはそれに類するものについてそれぞれを持参した年代ごと・性別ごとの人数を記載ください。

・1人の患者が種類の異なる、別の地域医療連携パス（「安心ハート手帳」等）を持参した場合は、それぞれ１人として計上してください。

【問5】上記期間中の急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離を主疾患とする患者が有している合併症について、分かる範囲で当てはまるものの人数をお答えください。

・貴院で治療を行った問 1 の患者のうち、「高血圧」、「糖尿病」、「腎不全」（維持透析あり・なし）「脂質異常症」「その他」について、合併症として有している場合、それぞれの人数を記載してください。

・複数の合併症を有している場合、それぞれを１人として記載してください。

【問６】上記期間中、令和５年度に県が作成したセルフモニタリングツールを使って受診された患者数について、ご記入ください。

・県が配付している「セルフモニタリングツール」を活用し、患者自身が症状悪化を把握して受診された患者の数をご記入ください。

【問７】上記期間中、令和５年度に県が作成した急性心筋梗塞地域連携フローを使用した患者数について、ご記入ください。

・県が配布している「急性心筋梗塞地域連携フロー」を活用し、急性期病院へ引き継いだ患者数をご記入ください。